



SALVATIONIST

ときのこえ

2020年標語「キリストを知る」(ローマの信徒への手紙8章31～39節)

二〇二〇年十一月十五日 発行

明治二十八年創刊

福音版・毎月一日発行

広報版・奇数月十五日発行(除く七月)



初冬号

広報版

2020

November-December

No.2809

2020年 救世軍標語

「キリストを知る」

聖書箇所：ローマの信徒への手紙 8章 31～39節

ときのこえ SALVATIONIST

初冬号 広報版
2020 November – December
NO.2809

もくじ

- メッセージ ストレッチしませんか？ 少佐 徳永幸次郎 …… 3
- 〔連載〕聖潔の流れに立つ 第13回 山室軍平の聖潔 中将 朝野 洋 …… 4
- 新型コロナウイルスとの闘いに打ち勝つために ブース記念病院 看護部長室 副看護部長 感染管理特定認定看護師 小西直子 …… 5
- 集会報告 感謝と賛美のコンサート …… 6
- 各地のニュース!! 江東小隊、神田小隊 …… 7
- 北海道連隊、恵みの家、グレイス、社会福祉部 …… 8
- 清瀬病院、士官学校 …… 9
- 名古屋小隊、佐野小隊、士官志願者部 …… 10
- 災害対策室リポート
- YP（青少年部）・ファミリーニュース 関東東北連隊、青少年部 …… 11
- 生活の中での聖潔 『今、聖くされる時』（万国本営女性部発行）より 大尉 中島美和 …… 12
- 〈連載・第7回〉 神の呼びかけ～神の民となるために～ (3) 神の言葉への呼びかけ …… 13
- 救世軍見解表明 社会道徳に対する救世軍の立場 第3回「性差別」(2) …… 14
- 召天記事 救世軍公報
- 新型コロナウイルス感染症流行に伴う 行事変更及び韓国での支援活動 …… 15
- 共に祈りの実を結ぶ～8週間の祈りのプラン …… 16

2020 オンライン軍国音楽祭

11月21日（土）～22日（日）

テーマ 「神の愛の歌」

お前の主なる神はお前のただ中におられ
勇士であって勝利を与えられる。
主はお前のゆえに喜び楽しみ
愛によってお前を新たにし
お前のゆえに喜びの歌をもって楽しまれる。
ゼファニヤ書 3章 17節

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染予防のため、今年の軍国音楽祭は、オンラインでおこないます。音楽救世軍人・音楽奉仕者のZoomによる交流や学び、心霊会、事前収録した賛美動画によるバーチャル賛美会を予定しています。参加方法・配信時間等については、救世軍ホームページ、Facebookでお知らせいたします。以下のリンクから御覧ください。

★なお、救世軍公式ユーチューブチャンネルでは、チャンネル登録者数1,000人をめざしています。救世軍による様々なジャンルの動画配信をいち早く知ることができる、チャンネル登録制度をぜひ御活用ください！



- きりとり -	
☐ 『ときのこえ』購読を申し込みます。 (1年分1140円。税込、送料別)	
☐ キリスト教についてもっと知りたいです。	
ご氏名	_____
ご住所	_____

表紙の写真：オンラインでおこなわれた北海道連隊長就任式（8月17日）と感謝と賛美のコンサート（9月6日）の様子	

ストレッチしませんか？

マタイによる福音書12章9～14節

少佐 徳永 幸次郎

■ストレッチしませんか？

今年は、世界中でステイホームという言葉が使われるようになり、おうち時間をどのように健康的に過ごすかが課題となりました。書店には、健康に関する本が所狭しと並んでいます。それらの中でも、自宅で手軽に体を動かすためのストレッチ運動の本がよく売れているそうです。

ストレッチをすると、これまででは限界と思えたところからさらに体を伸ばすことができようになります。疲労回復、肩こりや腰痛の改善、ケガの予防などの健康面の効果も大きく、柔軟性が高まることによる身体のリラックスが心にも良い影響を与えるということです。

わたしたちの日々の歩みも、自分の経験で限界をつくり、何かを始める前にそ

れ以上はできないという理由を考えてしまうため、疲れた生き方になってしまっていることがあります。この際、体だけでなく、自分が考えていた枠から、ストレッチ（伸ばすこと）してみてもいいかなのでしょうか？

これまでの限界を超える恵みにより、心も身体もリラックスした健康的な新しい生活が始まります。

た。その人は、キリストの「手を伸ばしなさい」との声に従ったことにより、その手も、もう一方の手のように、元どおり良くなりました。彼が考えてもみなかった、素晴らしいことが起こったのです。

とおりにした時に、その人は、それまでに考えたこともなかった癒しの経験をしたのでです。



聖書の中に、イエス・キリストが「ストレッチしなさい」と言われたところがあります。

「そしてその人に、『手を伸ばしなさい（※ストレッチしなさい）』と言われた。伸ばすと、もう一方の手のように元どおり良くなった。」（マタイ12・13 カッコ内※は筆者補足）

ここで、キリストのもとに連れて来られた人の片手は、力が入らない状態でした。

「手を伸ばし（ストレッチアウト）なさい」と言われました。そして、信仰に立つて、その言葉の

と多くの人が知っています。が、そのすべての人が実践しているわけはありません。手が不自由になってしまったこの人にとって、手を「伸ばす」（ストレッチする）ことは発想の中にありませんでした。しかし、イエスはその人の状態を知った上で、

■思いっきりストレッチしよう

ストレッチは心と体に良い効果をもたらします。自分の発想になかった「ストレッチしなさい」とのイエスの言葉に従った時、「伸ばすと、もう一方の手のように元どおり良くなった」という癒しの業が起こりました。わたしたちも、毎日の生活の中で無理だと思いついてしまった限界に発

想が制限されているかもしれません。手を伸ばす前に諦め、そして、神さえもその限界の中にとらわれているかのような錯覚を抱いているかもしれません。また、神がより素晴らしいものを備えておられるのに、そこそこの恵みで落ち着いてしまふことさえ起こります。神は、何もないところから天地を創造された力をもっておられます。信仰に立つて「ストレッチする」者に、神は、新しい、あふれる恵みを注いでくださいます。

横濱小隊では、感染予防対策を取りつつ、小隊会館内での集会を再開していますが、毎週日曜日には、インターネットを通じて聖別会の配信もおこなっています。

また、毎日朝七時には、オンライン祈禱会もおこなっています。

ユーチューブで「救世軍横濱小隊」と検索してみてください。



新型コロナウイルスとの闘いに打ち勝つために

ブース記念病院 看護部長室 副看護部長
感染管理特定認定看護師 小西 直子



はじめまして。4 月 1 日、ブース記念病院に副看護部長として着任しました。この場を借りて自己紹介をさせていただきたいと思います。私は、大阪で生まれ育ち、看護師として大阪の総合病院の脳外科・外科混合病棟で勤務後、付属の看護専門学校専任教員として 3 年間、その後温泉で有名な北海道登別の関連病院で約 7 年間病棟師長として勤務をしました。

この間に院内感染対策委員となったことをきっかけに、感染管理に興味をもつようになりましたが、その頃はインターネットもなく、専門の書籍も限られており、最新の知識を得るために、たびたび研修やセミナー受講のために東京へ通う日々でした。ちょうどその頃、日本看護協会に感染管理認定看護師教育課程が開設されたのを知り、2000 年に東京の関連病院に希望して転勤をしました。2003 年に感染管理認定看護師の資格を取得し、その後 12 年間感染管理者として、感染管理を推進・強化するための組織づくりや人材育成、度々発生する様々な感染症対応に力を入れ、多くの仲間の協力・支援を得ながら院内感染の拡大防止に努めてきました。

2016 年度からは、日本看護協会看護研修学校認定看護師教育課程の専任教員として、感染管理認定看護師の育成、特定行為研修の運営に携わっておりましたが、2017 年度には私自身が特定行為（持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整／脱水症状に対する輸液による補正／感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与）研修を修了しました。2018 年度からは、約 20 年続いた認定看護師制度を再構築し、今までの認定看護師教育に特定行為を取り入れた新たな認定看護師教育とする準備室での仕事となりました。特定行為研修は、2025 年に向けて、さらなる在宅医療等の推進を図っていくために、国が創設した看護師の研修制度です。医師や歯科医師の判断を待たずに、あらかじめ医師から出された手順書を使用し、看護師が患者さんの状態を見極め、定められた特定行為（21 区分 38 行為）の範囲で修了した一定の診療補助行為（例えば、脱水の程度を判断し、点滴による補正）がおこなえるというものです。

2020 年 3 月までに認定看護師制度の再構築が終了し、4 月から新たな認定看護師教育の開始が決定したことを機に、もう一度臨床現場で働いてみたいと考えるようになり、縁あってブース記念病院に勤めることになりました。このように、長年感染管理にどっぷり浸っていた私が、偶然にも新型コロナウイルス感染症が拡大している最中に、この病院に着任となったことに何か運命的なものを感じています。予想どおり、右も左もわからない状態のまま、着任初日よりコロナ対応に追われることになりましたが、初めて遭遇するウイルスに対し、どのように対策をおこなっていけばよいのか、私自身も今までの経験を総動員しつつ、手探りの毎日です。

感染対策の周知徹底の難しさを日々感じてきた私にとっては、新型コロナウイルスの登場により、これまでになく皆様が感染対策への興味関心を高めていることから、対策を徹底する絶好の機会と捉えているところもあります。どこの誰かもわからない私を受け入れ、協力・支援をしてくださった皆様のおかげで、今のところ院内での感染対策を進めることができていると思っています。先日、私のこれまでの活動について御意見を伺ったところ、「対策を知ること、不安が解消され、安心して仕事に臨むことができるようになった」「不安や疑問に思ったことをすぐに相談できる人がいるのは安心感がある」などの温かい言葉をいただきました。あっという間の 4 カ月間でしたが、私の経験が少しでも役に立っていることを知り、少しほっとしております。

しかし、新型コロナウイルスとの闘いはまだ始まったばかりです。6 月 19 日に休業要請が全面解除され、人と人との接触機会が増え、新型コロナウイルスの感染者数が 7 月に入り再び急増しています。新型コロナウイルスは、発症 2 日前～発症直前（つまり症状のない時期）に人に感染させる力が最も高いことが知られています。そのため、自覚のないまま感染者が周囲にウイルスを伝播していくことになります。とくに、現状では 20 代・30 代の若者の感染者が多く、活発に行動することから、感染拡大を抑えられない状況となっており、就学前の幼い子どもや高齢者へも感染拡大の兆しが出始めています。東京都は、感染経路がわからない人の割合も増加したこと等で、7 月 15 日に「感染拡大警報を発すべき状況」として、最も深刻な警戒レベル「感染が拡大していると思われる」に引き上げました。これからも、私たち一人ひとりが、“自分が感染していたら? ”、“隣にいる人が感染していたら?” ということを念頭におき、基本的な感染対策を確実におこない続けることが、コロナに打ち勝つ唯一の方法と考えます。私は、日々、更新される新型コロナウイルス感染症に関する最新の知見をふまえつつ、タイムリーに情報提供や対策の見直しをおこない、引き続き、救世軍関連施設の職員及び施設内での感染防止に努めていきたいと思っています。

現在、多大なる御配慮をいただき、感染対策に専念できる恵まれた環境の中でやりがいを感じながら楽しく仕事をさせていただいており、本当にありがたく思っています。しかし、今後は、看護部長のご指導の下、副看護部長として看護管理の役割も果たしていけるよう努力したいと考えています。改めまして、皆様よろしく願いいたします。（初出「ブース記念病院NEWS」2020 夏号・一部編集部にて編集）

〈連載〉聖潔の流れに立つ 第十三回

山室軍平の聖潔

中将 朝野 洋



六・山室の宗教を受け継いだ人々―山室による聖潔の流れ―

○青年部と教育の父……堀栄蔵少佐（続き）

青少年の魂に対する熱情を物語る逸話がある。

ある士官会の席上、堀少佐は、青少年の働きについて小隊士官に協力を求め、数字を挙げつつ至誠を吐露し、涙ながらに「みなさん、少年青年たちのために本気でやってください。やっていただけませんか」と言っ

て身もだえし、手にしていた歌集をはるか後方に向かって投げつけ、「みなさん、やってください。どうぞ子どもたちの救いのためにやってください」と言い

つつ泣いてしまった。後ろにいた山室は、堀の肩を叩きながら「わかったわかった、みなやるよ」と言った。

また、多くの歌の翻訳に携わった。「わがため十字架にかかりし主をおもえばなみだはあめとぞふる」「喜び満ちあふるる救世軍」「血と火のみ旗かかげ」等は、堀少佐の翻訳によるものである。

堀少佐が、「神様、きよめてください、聖霊よ降ってください、そうでないなら死んだほうがましです」と何度も繰り返し、手を打ち、泣き叫ぶように熱烈な真剣な祈りを士官会において献げる姿も目撃されている。士官学校同期生の瀬川八十雄大佐は、「その精神は熱血生一本で、意志は強固、救世軍を愛するといったら本気で愛する。少年の救いを信ずるといったら、

正直に信ずる。神の召しに対する信仰に至っては無色透明と言うほかはない。そして、これは若い時のみならず、終生少しも無理をしないうで変わらなかった。人を羨まず、嫌わず、人に知ってもらっているかどうか気にならない。人の悪を思わず、誇らず、ただ職分に没頭して止まぬ独特の存在であった」と評している。堀少佐は、関西連隊長在任中に病を得、一九三四（昭和九）年、四十四歳で天に召された。

○代議士から救世軍士官へ……村松愛蔵参軍

一九〇九（明治四十二年、砂糖の専売に関する汚職事件「日糖事件」）は、時の政界に激震をもたらした。連座した代議士は収監されたが、その中に愛知県三河出身の衆議院議員村松愛蔵がいた。村松は、出所がわからないまま金銭を受け取っていたが、素直に自らの罪を認め、獄中の人となった。そこで、以前から持っていた聖書を読み、魂の救いを経験したのであった。元々求道心のあった村松は、かつて救世軍を訪ねていたこともあり、同年に刑を終えた時には、救世軍に身を投じる決意をしていたのであった。十二月、銀座にあった救世軍本営を訪ね、救世軍で入信したい旨を申し出たのである。出獄時、五十四歳であった。

翌一九一〇年一月三日夜、神田和強楽堂でおこなわれた新年集会（救霊会）で救世軍兵士として受け入れられた。山室は語っている。

「村松氏は出獄後『日本に於けるブース大将』やその他救世軍に関する書籍を読み、私とも五回会見しました。よほどの覚悟があると見え、神のためには何事も厭わず働くと言っていました。私も同氏のため、また救世軍のため喜んで迎え、残る半生の幸福を祈ります。神に対する信念はよほど以前からあったと見え、極めて真面目な態度です。」（『朝日新聞』一九一〇（明治四十三）年一月十五日記事より）

村松は一九一〇年九月に士官候補生となり、事件当時別居状態であった妻きみも村松の変貌によって心を変えて入信し、救世軍士官となった。きみは証言にお

いて、

「私は二千年前にキリストがおこなわれた奇跡のことを聖書で読みましたが、今もやはり、それと同じようなことがあります。というのは、私はかつて訳あって夫と共に住むことを好みませんでした。それは、彼の心が重い病にかかっていたからです。私はどうかして彼を癒そうと試みましたが、そういう自分もまた罪の病に悩んでいたのですから、到底わたしの力ではできませんでした。けれども、神様が夫の病を癒してくださり、そのうち、私も同じ恵みに入れてくださいました。今この栄えある軍隊に属していることを感謝いたします。」

救世軍士官として、京橋、岡山、横浜小隊での奉仕の後、一九一三（大正二年、愛蔵は本営社会部の人事相談部主任、きみは、東京婦人ホームの主任に任じられ、以後十六年に亘って務めた。当時も引退年齢は六十五歳であったが、高齢での献身であったことから自ら強く希望し、七十三歳まで現役奉仕を延長したのであった。引退まで、人事相談に応じた人数は約三万人にのぼったという。刑務所の囚人を導くためには、書籍を送ることは制限があったため、『救世軍軍令及び軍律兵士の巻』の三分の二を原稿用紙に書き写して送ったという逸話もある。一九三九（昭和十四）年、八十三歳で召天。山室の司式によって葬儀がおこなわれ、四百七十人も会葬者があった。（続く）

※前回の記事におきまして間違いがありましたので、左記のように訂正いたします。

『ときのこと（広報版）初秋号 第二八〇六号 4 ページ（誤）紫綬褒章 ↓（正）藍綬褒章

大変申し訳ございませんでした。 編集部



『わたしたちの信仰』
(600円税別)

増刷しました！
みなさん、もう
読まれましたか？
救世軍の教理を
学んでみませんか？

御注文は、
救世軍出版供給部まで

NEWS!!
NEWS!!

各地のニュース!!

江東小隊

●「こども食堂 マナ」を開始

新型コロナウイルス感染症のためにすべての学校が休校となった3月、江東小隊主催で「こども給食」をおこない、5月～6月初めまでは、東京東海道連隊主催で「こども給食」を実施しました。回を重ねて地域で周知され、用意した弁当が即完売する状況となりました。

その後、様々な生活制限が緩和されましたが、コロナ禍での経済的な打撃や、生活様式の変化から子育て環境に大きな影響が出ていることを懸念し、この度、小隊として、定期的（毎月第3金曜日）に「こども食堂 マナ」を開催することになりました。栄養豊かな食事を安価で提供し、主に子育て中の家庭を支援するとともに、近隣のニーズに応えていきたいと願っています。

「こども食堂 マナ」の第1回は、9月18日におこなわれ、感染拡大予防のため、当分は弁当を提供することを小隊前の掲示板やSNSで伝えたところ、開始時間前から待っている方があり、ニーズを実感しました。

利用されている方から、「こども給食」の際に弁当が入っていた、ほっともっと様の「ドラえもん」の入れ物を今も大切に持っていて、折り紙工作をお弁当に見立てて、お弁当ごっこをしている、子どもの保育園が休みだった頃、「こども給食」に来るのが子どもにとっての楽しみであり、3人の子どもを抱えている自分にとってとても助かった時だった、次はいつかと楽しみにしていた、等喜びの声を聞くことができました。久しぶりの活動再開で、提供に時間はかかりましたが、50食が完



売しました。

「こども給食」にも欠かさずボランティアで参加してくれた江東小隊に通う母子（お子さんは小学校4年生）は、今回も参加し、手際よく盛り付けや配布の役割を果たしてくれました。また、食材のために、救世軍の保育園があった砂町銀座商店街の天兵様と梅むら様、東宝青果様のご協力をいただき、小隊有志は、おはぎを購入して寄付してくれました。

弁当支援の様子を見た通りがかりの方が、活動に賛同して寄付をしてくださり、励まされました。

また、この食事支援活動のためにフードバンクBOX（家庭にある賞味期限内の余剰食品等を回収）を入口に設置し、地域からの食品提供の協力を募っています。



神田小隊

●社会鍋資金による支援

千代田区社会福祉協議会からの紹介によって、飯田橋の食堂「ワイルドピッチ」に食材を提供する支援をおこないました。

「ワイルドピッチ」は、3月の学校の休校時に、「こども食堂」として、平日の昼食を子どもたちに無償提供し、6、7月には週に1回同様の活動をおこなっていました。8月の夏休みの間は、月・水・金と週3回開催しました。毎回5、6人の子どもたちが食事を食べに来ているとのことでした。新型コロナウイルス感染症のために経済的に不安定になった家庭の子どもたちを対象としたこの活動を支援するため、米30キログラム、缶詰100個、菓子を提



供しました。

コロナ禍にあって困難を覚えている方のために、これからも地域の活動などと協働して支援したいと思っています。

集会
報告

感謝と賛美のコンサート

9月6日（日）午後7時～ オンライン（士官学校講堂）



コロナ禍による集会自粛の中、当初は山室軍平記念ホールでの開催を予定されていた「感謝と賛美のコンサート」を、オンラインコンサートに切り替えて開催しました。ゲストとして、ロックバンド「ナイト de ライト」が出演し、東京会場（士官学校講堂）と北海道会場（北海道・恵庭市の教会地下に設けられた音楽スタジオ）との二元中継でおこなわれました。

東京会場では、青少年部長・朝澤義人大尉が司会進行。コンサートに先立ち、士官永年勤続章授与式がおこなわれ、山谷真少佐に30年章、眞鍋精一少佐に40年章、ケネス・メイナード大佐に40年章、シェリル・メイナード大佐に40年章が授与されました。

北海道会場には、帯広小隊長樋口潔中尉がリポーターとして立ち、「ナイト de ライト」は、「君はそれで素晴らしい」「すっぽりとはまる」「虹」「強さ誇らず」「家」「幸せってなんだろう」を演奏。今回のコンサートの最後の曲「ポラリス」に続き、アンコールに応じて「きみの笑顔 ぼくの笑顔」と、心に沁みる楽曲を小気味よいリズムで次々と披露しました。

最後に司令官ケネス・メイナード大佐がコメントし、このコロナ禍にあって救世軍は人々のニーズに応えるための戦いを続けていく、と語り、この不安の多い時代に



あってもイエス・キリストを信じ、依り頼むことによって、希望と平安を得てほしい、と勧めました。

今回のコンサートは、北海道と東京をネットで結んで配信するという難易度が高い試みであったことから、この分野に知見をもつ長谷川忠幸牧師（鳥取・境港キリスト教会）のアドバイスとサポートをいただきました。長谷川牧師が配信ホストを担当してくださることで、クリアな映像と音声で演奏をリアルタイムに配信することができました。

「ナイト de ライト」は2006年に札幌で結成された4人組ロックバンド。2012年に「終わらない夢」がコンサドーレ札幌（サッカーチーム）の公式サポートソングと銘菓「白い恋人」のテレビCMに採用されたほか、2013年には、「虹」が大丸札幌店店内BGMに、翌年には、「Stain」が阪神タイガースのマット・マートン選手の登場曲に採用され、全国でのライブ活動に加え、イスラエル、香港、ハワイでも演奏するなど、幅広く活動しています。メンバー全員がクリスチャンで、うち3人は牧師。ラジオのパーソナリティーも務めています。

なお、感謝祭募金の標的は、救世軍公式ホームページ上で12,410,000円と発表されました。（配信視聴者 平均150人、最高時190人、伝道事業部報）



写真左上より、士官永年勤続章を受ける、山谷少佐（右）、メイナード大佐夫妻（左）、眞鍋少佐（右）、北海道会場からの「ナイト de ライト」中継でリポートする樋口中尉

訪問サンデー 11月1日

遣わされないで、どうして宣べ伝えることができよう。「良い知らせを伝える者の足は、なんと美しいことか」と書いてあるとおりです。（ローマ10・15）

直接会うことの難しい時です。電話をかけた、手紙を出したり、メールをしてみたり、知人・友人に連絡を取ってみませんか？



清瀬病院

●オンライン面会の運用開始

コロナ禍での新しい取り組みとして、8月19日（水）より療養病棟のオンライン面会が開始されました。半年以上お会いできなかった御家族同士の面会は、画面上ではありましたが、大変喜ばれ、各所で感動的なシーンが見られました。職員からの声の一部を紹介します。

○いつもは呼びかけでやっと目が開く程度の方が、御家族の声と映像に反応して、みるみる表情がしっかりしてくるのを見て、心から良かったと思えました。

○普段あまり声を出されない患者様が、画面上の御家族に頑張ってお話をされたりしている様子を拝見し、また、御家族や患者様が喜ばれている姿を見て、職員の私も本当に感激しました。同時に、御家族は私たちが想像している以上に、面会ができない現状に辛い思いをされている、ということを感じました。

○「以前に写真を送っていただいたが様子があまりわからなかった。オンライン面会は表情もよくわかり声も聞けて安心した」と声をいただきました。訪室した時に伺うと、「5カ月ぶりに家内の顔を見、声を聞き、恥ずかしながら男泣きに泣いてしまいました」と感動しておられました。

○久しぶりの再会に、画面越しでも、お顔を見て泣きそ

うになる方、にこにこと嬉しそうに患者様に声をかけられている姿を見て、こちらもなんだか感動して涙が出そうでした。患者様も安心されたような表情で、やはり御家族の力は大きいなと感じました。御家族の簡単な質問（御飯は食べられていますか。普段、笑ったりしますか。など）に、付き添いのスタッフが返事をしたことから、様子がわかって安心されたようです。

○面談をする御家族と共に過ごすことができ、喜びを共有することができました。考えていた以上に御家族が喜び、日頃のスタッフの関わりに感謝をしておられたのが、印象的でした。患者様も御家族に会い、元気が出たような感じを受けました。

○面会当日は、御家族のサポートと患者様のセッティングの双方に携わせていただきました。患者様を一目見た御家族の何とも言えない安堵感や患者様の緊張した表情がみるみる嬉し泣きになる瞬間を目にした時、自分の事のように胸が熱くなりました。御家族は会えなかった寂しさよりも、コロナ禍でも元気そうな患者様に対して、病棟スタッフに心から感謝されていたりました。

○御家族が喜ばれている様子を画面越しに拝見できたこと、幸せな時間でした。御家族との対面時の患者様の言葉の多さ、表情の豊かさなど、リハビリ訓練で出会っている時とは別のお顔を発見できました。

士官学校

●旧士官学校オープンデー

7月13日（月）、14日（火）、旧士官学校校舎を公開したところ、多くの方々が最後のお別れに来られました。入口に掲示したポスターを見て、初めて士官学校校内に来られた地域の方々や日曜学校の生徒だった方、兵士、士官、引退士官の方々が次々に来られました。

新型コロナウイルス感染症感染予防に配慮しつつ、来訪者は、校舎内の見学や、懐かしい歴代の候補生のアルバムを見ておられました。中には、士官学校での日曜学校が、その方の生涯に亘る信仰のための種が植えられた場所でした、と思い出を語ってくださる方もいらっしゃいました。（来訪者50人）



●夏期訓練の恵みの証言を動画で配信

『恵みを伝える者』の学年、眞鍋嗣道候補生、恵候補生は、福山小隊及び岡山小隊での夏期訓練を終え、無事2人のお子さんと共に8月27日（木）に帰校しました。

そして、早速8月30日（日）午後1時より「夏の恵み～主は良いお方」と題して、士官学校から恵みの証言と夏期訓練の報告、そして賛美が配信されました。候補生夫妻は、コロナ禍にあって、様々な活動の制限がある中、葛藤や焦り、悩みをすべて神様に委ねる経験ができたこと、その後に与えられた平安の経験から大きな祝福へと導かれたことなどを証しました。（視聴回数498回）（写真上より、候補生夫妻と福山小隊、集った方々）



NEWS!!
NEWS!!

各地のニュース !!

北海道連隊

●連隊長及び連隊女性部書記就任式

8月17日（月）、18日（火）、岩見沢市にあるメープルロッジで連隊士官会を開催し、連隊内から6人の士官と2人の子女が集いました。

開会集会では、加藤直子大尉の連隊長及び連隊女性部書記の就任式をおこないました。司令官ケネス・メイナード大佐の司式によって、士官学校からの映像によるリモートでおこなわれ、救世軍旗の下、誓約の時をもち、



写真上左より
・北海道連隊の参加者
・士官会での交流のひと時
・就任式のリモート参加者

軍国女性部会長シェリル・メイナード大佐が祈りを献げました。

続いて、連隊長加藤直子大尉の証言があり、司令官は、テサロニケの信徒への手紙一5章1～11節から、奨励のメッセージを語りました。オンラインで、司令官夫妻の他、書記長官西村保大佐補、軍国女性部書記西村和江少佐、人事・教育部長添田美和少佐が参加しました。

恵みの家

●創立7周年記念感謝状授与式

特別養護老人ホーム恵みの家は、開設以来、地域の高齢者と御家族に安心してお過ごしいただける施設として整えられてきました。

5月に予定されていた7周年の創立記念集会が、新型コロナウイルス感染症拡大予防により中止されたため、9月11日（金）、書記長官西村保大佐補の司式によって永年勤続の職員への感謝状授与式のみおこなわれました。書記長官は、永年勤続の感謝状を受け取る職員一人ひとりへ「あなたの最も大切な方へお仕えるように……」との恵みの家の理念を引用しながら、感謝



の言葉を伝えました。最後に、軍国女性部書記であり恵みの家のチャプレンでもある西村和江少佐が、職員や利用者や関係者を覚えて祈りを献げ、式を閉じました。短い式でしたが、職員への励まし、設立理念の再確認、今まで恵みの家の働きを守り導いてくださった神様への感謝の思いを新たにするとともにしました。（出席者24人）

グレイス

●永年勤続感謝状授与式

10月1日（木）、司令官ケネス・メイナード大佐、軍国女性部会長シェリル・メイナード大佐夫妻を招き、ブース記念老人保健施設「グレイス」の開設25周年を記念し、祝う時をもちました。

例年、記念礼拝をおこなっていますが、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため、永年勤続感謝状授与の式のみをおこない、職員の日頃の働きに感謝しました。司令官は、受章者一人ひとりに温かい言葉をかけて、その労をねぎらい、受章者（勤続5年）であり、9月30日付で施設長を退任された黒川純医師（写真上中央 花束を手に）には感謝を表す時をもちました。（出席者40人）



（ヨハネ1・5）のテーマでおこないました。

開会集会を司令官ケネス・メイナード大佐が指揮し、テーマに沿ってメッセージを語り、吉田真中將による「救世軍社会福祉事業の理念」の研修、各施設の近況と事例報告、救世軍社会事業団の顧問弁護士森田武男氏による「人事・労務について」の講演がありました。閉会集会を書記長官西村保大佐補が指揮し、「朝ごとに新たになる」（哀歌3・19～24）と題して語りました。新型コロナウイルス感染症感染拡大予防の中でのオンラインでの開催でしたが、熱心な学びの時となりました。（参加者37人〈部分参加含む〉）

社会福祉部

●全国社会福祉施設長及び士官会

9月2日（水）、3日（木）、「光は闇の中に輝いている」



災害対策室レポート

■呉市天応地区仮設住宅引っ越し支援

2018年7月の豪雨災害被災地である呉市天応地区では、復興住宅が完成し、8月1日(土)より仮設住宅で過ごしておられた方々の入居が可能になりました。

この引っ越し作業を、救世軍、キリスト教会広島災害対策室・呉ボランティアセンター、また他のボランティア団体と協働で支援しました。14世帯に対して、4日間で、延べ50人のボランティアが参加しました。

■令和2年7月豪雨被災地での重機レンタル支援

九州キリスト災害支援センターの働きの後方支援として、物資・資材の提供を他団体と協働して実施しました。また、クラッシュ・ジャパン、キリスト教会広島災害対策室との共同プロジェクトとして、重機(ダンプカー1台、ユンボ1台)をレンタルし、被災地に送る支援をおこなっています。熊本県人吉市を中心に、この重機が復興作業において大きな役割を担っています。このために、福岡小隊、高崎小隊有志が献金をしてくださいました。

2020 クリスマス・カレンダー

11月29日(日)
アドベントに入る

12月6日(日)
聖書サンデー

救世軍クリスマス・コンサート 2020
(オンラインにて)

20日(日)
クリスマス・サンデー

24日(木)
クリスマス・イブ

25日(金)
クリスマス

Mary treasured up all these things and pondered them in her heart Luke 2:19

※集会については最寄りの小隊にお問合せください

YP (青少年部)・ファミリーニュース

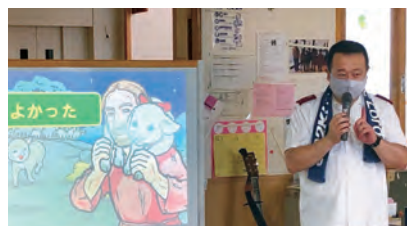
関東東北連隊

●「佐野こどもクラブ」おたのしみ会

8月11日(火)、「佐野こどもクラブ」において、1日限りのおたのしみ会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響から、関東東北連隊青少年部の夏の行事がキャンセルとなったため、「佐野こどもクラブ」の子どもたちを対象に、外部への呼びかけはせず、少人数の奉仕者でおこないました。

開会礼拝から始まり、連隊青少年部書記細貝信義大尉とのぶ江大尉が、「まいごのメーコ」のデータビジョン紙芝居(写真上)をしました。その後おたのしみ会の時をもち、スーパーボールすくい、くじ引き(写真下)、園庭遊び、昼食(カレーライス)、ビンゴ、おやつ、自由遊びなど、猛暑によるエアコンの不具合もありましたが、ゆったり楽しく過ごしました。(参加者66人)



●学童保育「スマイルキッズ」訪問

同日の午後、佐野小隊の川島仁子兵士が運営する学童保育「スマイルキッズ」を、アイスクリーム持参で訪問しました。31人の子どもたちに会い、救世軍主催のキャンプが中止となったため、子どもたちにとって夏の思い出になる企画をということで、この計画が実現しました。(写真下)



青少年部

ザ・ブlessing ジャパン

●The Blessing Japan による賛美動画に参加

コロナ禍にあって、日本にある75のキリスト教会や宣教団体が心をひとつにし、日本とすべての国々の上に神の祝福を宣言する歌を収録しました。救世軍からも山口エリ兵士、(神田)、石川眞兵士(江東)、山谷愛加兵士(渋谷)、石坂太陽ジュニア・ソルジャー(杉並)が賛美に参加しました。9月11日(金)午後5時から配信され、現在も、救世軍公式ホームページより視聴いただけます。(写真前頁左下)



NEWS!!
NEWS!!

各地のニュース!!

名古屋小隊

●召天者合同記念会

9月27日(日)、召天者合同記念会として、午前10時より小隊会館で聖別会を、午後2時から八事霊園名古屋小隊納骨堂前で墓前礼拝をおこないました。

毎年、召天者合同記念会は春と秋に守っていますが、近年、台風やコロナ禍のため、度々開催できませんでした。今回も開催を見送るか検討しましたが、御遺族の召天者を偲ぶ思いを大切にして、集まらない方のためにもライブ配信をおこないながら開催することとしました。

当日は、秋の青空の広がる良い天候が与えられ、聖別会(11人・写真上左)、墓前礼拝(5人・写真上右)で守ることができました。また、フェイスブックを通してのライブ配信は、聖別会の再生数67回、墓前礼拝の再生数55回(10月2日現在)と、自宅で映像を通して参加され



た戦友・関係者がありました。

会館内の聖別会では、新型コロナウイルス感染症の感染予防として、スペース確保のために召天者の写真を飾ることができず、また集会時間短縮のために召天者名簿の朗読や献花の時間をとることもできませんでしたが、久しぶりに顔を合わせることでできた戦友方もあり、互いに、神様の恵みと慰めをたくさんいただくことができました。

名古屋小隊では、感染予防のための集会の制限に伴い、毎週の聖別会を小隊長の公用携帯での撮影と外付けマイクによってライブ配信してきました。コロナ禍のため今までどおりの集会はおこなえませんが、インターネットによってたくさんの方に集会をお届けすることができることは、新たな神様からのお恵みとして感謝しています。

佐野小隊

●社会鍋資金による支援

9月9日(水)、デイサービスセンター「ほほえみ館」を訪問し、中島昌美所長(写真左端)に、使い捨てビニール手袋150双と雑巾200枚、『ときのかえ』20部をお渡ししました。

この施設には、一昨年まで、佐野保育園の年長クラス「すみれ組」が毎年秋に訪問し、おゆうぎや歌を披露していました。昨年は、水害による影響で、今年は新型コロナウイルスの感染症感染拡大防止のためにキャンセルとなったため、園児がつくった2枚の壁掛け飾りを佐野保育園の久富直樹園長が代表して贈呈しました。救世軍から、連隊長藤井健次大佐補及び千明大佐補夫妻、三浦光子家庭団書記、久富園長が訪問しました。



士官志願者部

●召命と献身について考えるセミナー「ワンステップ」

7月17日(金)～19日(日)、士官学校を会場に開催しました。初日は、霊的生活成長部長中島美和大尉の導きによる賛美礼拝から始まり、2日目は、士官志願者部長勝寛実香大尉が「祈りの旅路」として、御言葉とテーマに沿った祈りと黙想の時を導きました。また、士官学校付勝隆大尉が「バイブルスタディ」を導き、信仰の歩みや献身について分かち合う時となりました。最終日の閉会集会は、軍国女性部会長シェリル・メイナード大佐が導き、最後に司令官ケネス・メイナード大佐が神に委ねてワンステップするよう奨励しました。参加者一同、神様との関係を深める時となりました。(参加者9人)

●Design for LIFE20

9月11日(金)～13日(日)、霊的生活成長部との共催で士官学校を会場におこないました。「造り主に導かれる歩み」(イザヤ46:3b、4)のテーマの下、新型コロナウイルス感染症拡大予防を考慮し、賛美や御言葉の学び、黙想と交わりを通して、それぞれが心静まって神様と交わる時をもちました。司令官ケネス・メイナード大佐、軍国女性部会長シェリル・メイナード大佐、士官志願者部長勝寛実香大尉、霊的生活成長部長中島美和大尉、士官学校付勝隆大尉、青少年部長朝澤義人大尉が導きました。(参加者10人)

社会福祉サンデー 11月15日

救世軍の社会福祉の働きのために祈りましょう



〈連載・第7回〉

神の呼びかけ ～神の民となるために～

(3) 神の言葉への呼びかけ

(承前) 万国霊的生活委員会の思いを、ロジャー・グリーン博士はこう語ります。「エルサレムの教会から始まった偉大な教会のリバイバルは、聖霊の力によるものであり、それが福音を宣言することによってもたらされたことには疑いの余地ありません。そしてこのことは、今現在に至るまで事実なのです。説教の重要性には、聖書的かつ歴史的証拠があります。また、わたしたちの動機や経験も、この考えを裏付けるものです。クリスチャン・ミッションの時代には、わたしたちの小隊が「プリーチング(説教)・ステーション」と呼ばれていたことは、わたしたちの歴史において、説教がどれほど重要視されていたのかを証明するものです。」

ウィリアム・サングスターは、「説教は、人が提供し得る最高の、最も神聖な働きであり、天使もこれを羨み、大天使は、このために天国を去ることもいとわないと思うほどの役割だ」と書いています。対照的に、アンソニー・トロロープは、説教する聖職者は、彼の時代における退屈な者となり得る、と言っています。

これらのことを念頭に置いて、ジョン・リードは、常に検討が必要な5つの事柄をこのように掲げています。

- 神学が福音の宣言を支えている(またはその欠如)
- 学びの時間(またはその欠如)
- 効果的な牧会の働きのために、御言葉を土台にしている
- 意図や効果を評価する必要性
- テーマとの関連性

説教の中には、とても説教とは言えないものもあります。説教と呼ばれるに値しないことが、説教台や高壇から発せられることがあるのです。準備の不十分さや、内容が不適切なために、本来は尊いものが、安っぽくされてしまうことがあります。

聞く側の人、語られる言葉に耳を傾ける側の人について、リンダ・ボンドは次のように勧めています。「心の姿勢として、感謝、信仰、従順、そして神に依り頼む思いをもつことが必要です。わたしたちは、語られる言葉を上から裁く立場にいるのではなく、かといって、言葉自体を神のように祭り上げて崇拝するのでもありません。むしろわたしたちは学ぶ者として、熱心に耳を傾け、従おうという思いをもって、その場に集まるのです。それは、言葉に靈感をお与えになる聖霊御自身が、わたしたちの心と思いと光を照らしてくださるという理解に立った上でそうするのです。」

神の言葉を説き明かし、これを学ぶことは、教会の命そのものです。このどちらのためにも、多くの資源―ビ

デオ、CD、DVD、書籍、セミナー、コースなどが提供されています。わたしたちが霊的成長のどの段階にあったとしても、成長の助けになる資料があるのです。神の言葉をなおざりにする口実はありません。

詩編の作者は神の言葉の価値を確信していました。「あなたの御言葉は、わたしの道の光 わたしの歩みを照らす灯。」(詩編119・105) 同じ詩編には、このようにも書かれています。「主よ、とこしえに 御言葉は天に確立しています。」(89節) 教会の初期の時代に、テモテに宛てた手紙の中で、使徒パウロが宣言していることは、聖書は「キリスト・イエスへの信仰を通して救いに導く知恵を、あなたに与えることができます」ということでした(テモテニ3・15)。

わたしたちの理解を助けるために、さまざまな聖書の訳が利用可能ですが、1881年に改訂版聖書(Revised Version)が発行されて間もなくの頃、ウィリアム・ブース大將が言った言葉を振り返ってみましょう。

「わたしは新しい聖書の翻訳が、生きた人々の心と振る舞いに反映されるのを見たい。更に素晴らしくなった訳を通して示される、戒めと約束、教えとその感化が、読む人々の思い、感情、言葉、活動に届くように。これを手に取る人々が、これが靈感された書物として、そして人生の規範となる権威をもつ唯一の書物として、親しむことができるように。」

神の言葉がわたしたちの人生の規範であるならば、わたしたちはそれを学び、御言葉に注意を払い、それに従って生きなければなりません。

何百年にも亘る旧約聖書の時代、神は律法と預言者を通して民に語りかけられました。その言葉が注意深く受け止められた時、人々は繁栄しました。けれども神の言葉を無視した時、民はその怠慢の結果を刈り取ったのです。

言葉は、実際には十分ではありません。御自分の言葉を個人的に語りかけるために、神はその御子―「神の言葉」である方を送られました。新約聖書には、わたしたちに導きと靈感を与える、命の言葉が書かれています。神の御子であるイエス・キリストは、言葉でその御心を語っただけではなく、実際にその語った御心を、身をもって示されたことを、わたしたちは見ることができます。その命を犠牲にしてまでも示されたものを。(続く)

聴くドラマ聖書
Japanese Drama Bible



有名俳優の演技力と驚きの臨場感を体験できる「聴くドラマ聖書」(一般財団法人日本G&M文化財団)を御存知ですか？

スマートフォンとパソコン(現在準備中)で使えるアプリです。迫力あるドラマ仕立てが魅力！御利用は無料です。詳しくは左記公式サイトを御覧ください。





『今、聖くされる時』(万国本堂女性部発行)より

生活の中での聖潔

霊的生活成長部長 大尉 中島 美和

「だから、いつでも心を引き締め、身を慎んで、イエス・キリストが現れるときに与えられる恵みを、ひたすら待ち望みなさい。無知であったころの欲望に引きずられることなく、従順な子となり、召し出してくださった聖なる方に倣って、あなたがた自身も生活のすべての面で聖なる者となりなさい。『あなたがたは聖なる者となれ。わたしは聖なる者だからである』と書いてあるからです。また、あなたがたは、人それぞれの行いに応じて公平に裁かれる方を、『父』と呼びかけているのですから、この地上に仮住まいする間、その方を畏れて生活すべきです。知ってのとおり、あなたがたが先祖伝来のむなしい生活から贖われたのは、金や銀のような朽ち果てるものにはならず、きずや汚れのない小羊のようなキリストの尊い血によるのです。キリストは、天地創造の前からあらかじめ知られていましたが、この終わりの時代に、あなたがたのために現れてくださいました。あなたがたは、キリストを死者の中から復活させて栄光をお与えになった神を、キリストによって信じています。従って、あなたがたの信仰と希望とは神にかかっているのです。あなたがたは、真理を受け入れて、魂を清め、偽りのない兄弟愛を抱くようになったのですから、清い心で深く愛し合いなさい。」(ペトロ一 1:13-22)

この聖書箇所には、神様抜きで生きる人生がいかに虚しいものであったか、けれどもイエス様がご自分の命を犠牲にして、罪の内に死ねばかりであったわたしたちを救ってくださったことが書かれています。イエス様の尊い血潮によって、わたしたちはもはや奴隷ではなく、神の子とされました(ガラテヤ4・7)。わたしたちは神の国の相続人なのです！ 天国の市民となったわたしたちは、神の国の価値観に従って生きる者となりました。17節に「この地上に仮住まいする間、その方を畏れて生活すべきです」とあるとおりです。そのように考えると、わたしたちには神の国を尊重し、これを保持することが求められています。

15節で、わたしたちは聖なる生活を送るようにと命じられています。「召し出してくださった聖なる方に倣って、あなたがた自身も生活のすべての面で聖なる者となりなさい。」聖なる者になるとは、聖められる、つまり、神様に尊く用いられるために取り分けられることを意味します。神様の子どもとされたわたしたちは、神様に属するものだということがこの世の人にもわかるように、取り分けて、際立たせたいという神様の願いです。ペトロの手紙一2章9節にはこう書かれています。「しかし、あなたがたは、選ばれた民、王の系統を引く祭司、聖なる国民、神のものとなった民です。それは、あなたがたを暗闇の中から驚くべき光の中へと招き入れてくださった方の力ある業を、あなたがたが広く伝えるためなのです。」神様がわたしたちに、生活のすべてにおいて聖なる者となるようにと招かれるのは、そのように生きるわたしたちを周りの人々が見て、その中心にある神の国の価値観に触れる機会が与えられるようにと願ってのことです。

わたしたちの周りの世界を見る時、今こそわたしたちが聖くされるべき時であることは疑いようありません。この世は、ますます自分自身の欲望を満たすこと、そして自分自身の分別に頼ることに焦点を合わせています。道であ

り、真理であり、命であるイエス様がいないければ、人々は衝動に駆られ、自分がやりたいと思うことを何でも行動に移します。けれども、そのような虚しさから救われた者として、わたしたちは、神様以外に真の喜びや希望はないことを知っています。今この時こそ、わたしたちが聖なる者とされる時です。誰かが、実践的で、かつ現実的な方法で聖潔というものを日常生活の中で示さない限り、多くの人は神の国の価値観を体験する機会がないのです。恵みと愛に満ちた神の国の価値観を。

神の国の生き方については、聖書に多くの示しがありますが、22節では、「あなたがたは、真理を受け入れて、魂を清め、偽りのない兄弟愛を抱くようになったのですから、清い心で深く愛し合いなさい」と勧めています。実践的な聖さについて聖書に書かれている指示を、自分の力で実行することはまず不可能です。多くの人がキリスト教や聖潔ということにつまずきを覚えたり、懐疑的になるのは、聖書の基準があまりにも高すぎるという点にあるのではないのでしょうか。どれほどの人々がこう口にすることでしょう。「自分はきちんとしていないから、教会には行けない。」けれどもわたしたちは、神様との生きた関係をもっていなければ、けっして聖い者となることはできません。神様は聖さにおいて完全な方であり、生身の人間であるわたしたちには弱さがあるのです。わたしたちは神様とつながることによってのみ、聖なる者となることができます。聖霊がわたしたちの霊的な歩みを助け、導いてくださることによって、わたしたちは実際的な聖さにおいて成長することができます。

21節にはこう書かれています。「あなたがたは、キリストを死者の中から復活させて栄光をお与えになった神を、キリストによって信じています。従って、あなたがたの信仰と希望とは神にかかっているのです。」神様に対するこのような信仰と希望をもつことは、明らかにわたしたちをこの世から際立った者としめます。わたしたちの周りの世界は、かつてないほどに信仰と希望を必要としています。どうかわたしたちが、生活のすべての面において聖なるものとなり、わたしたちに豊かに注がれている愛と恵みを周りの方に伝えていくことができますように。

祈り：父なる神様、わたしたちを取り分けて、あなたの特別なものとしてくださったことをありがとうございます。神様、周りの人たちがわたしたちと関わる時に、わたしたちを通して天国を垣間見ることができるように、どうかわたしたちの生活すべてが聖くされるよう助けてください。アーメン

話し合ってみましょう：

- 「聖潔」という言葉を聞く時、何が思い浮かびますか？
- あなたは、心を引き締め、身を慎んで、イエス・キリストが現れるときに与えられる恵みを、ひたすら待ち望んでいますか？
- 今週、神の国の価値観に従って生きる、具体的な方法を考えてみましょう。



ルイズ・モーリス中将 天に召さる

9月18日(金)、ルイズ・モーリス中将が召天されました。88歳でした。

1953年、米国南部軍国の士官学校より『先駆者』の学年から任官。サン・アンジェロ小隊、テキサス小隊の任を受けられました。士官学校の教官として任命された際、テッド・モーリス候補生と出会い、1957年に結婚。結婚後は、共にテキサス州のボーガー小隊、オデッサ小隊で奉仕。日本への召命を受けた二人は、1961年に初めて日本軍国に任じられ、延べ26年間日本で奉仕されました。2度目の来日は1974年、3度目は1986年。初来日時、長男のテッド少佐は3歳、次男ケン少佐は生後6カ月で、3男のスティブン大佐補は日本で誕生されました。

1986年に軍国家庭団書記、1992年に軍国婦人部会長の任命を受けられ、1997年に帰国。米国南部軍国で奉仕後、引退されました。日本では、夫君テッド・モーリス中将(2004年に召天)と共に、本営、士官学校において奉仕され、音楽の賜物も用いられ、軍国の指導者として霊的な感化を多くの方々に与えられました。葬儀は9月24日(木)、アトランタ・テンプル小隊にておこなわれました。日本での貴い御奉仕に感謝し、御遺族の上に神様の慰めをお祈りいたします。



水落敏明名誉曹長 天に召さる

八幡小隊の水落敏明名誉曹長が、8月16日(日)、入院先の病院において召天されました。97歳でした。

救世軍との出会いは、1950(昭和25)年、救世軍人が仲人となり、結婚式を救世軍式で挙げたことでした。その後、救世軍の募金協力者となり、先に芳子夫人が信仰に導かれ、1955(昭和30)年に夫婦で兵士入隊をしました。以来、1970(昭和45)年に小区軍曹、1975(昭和50)年、副曹長、1988(昭和63)年、曹長の任命を受けました。その間、北九州信徒聖書学校で3年間学び、後進の指導に励まれました。召されるまで読書を愛し、小隊では快活なムードメーカーとして、屋外の伝道でも率先して役割を担われました。葬儀は、北九州市がコロナ禍にあり、家族葬にておこなわれました。ご遺族、関係者の皆様の上に、神様の御慰めと御祝福をお祈りいたします。(八幡小隊報)



大里仁一曹長 天に召さる

桐生小隊の大里仁一曹長は、8月23日(日)、入院先の病院より召天されました。88歳でした。

魚屋を営む家庭で育ち、苦学して群馬大学学芸学部を卒業。1955(昭和30)年、桐生市立北小学校教諭を皮切りに教職に就き、1993(平成5)年、桐生市立西小学校校長を最後に退職。その後、桐生市教育委員会の嘱託となり、桐生教育史編纂や文化史研究などにも貢献され、2014(平成26)年、桐生市市政功労者表彰を受賞されました。

救世軍に導かれたきっかけは、1961(昭和36)年、西川成子兵士との結婚でした。救世軍桐生小隊での挙式後間もなく小隊の集会に出席され、その日に恵の座に導かれ、キリストによる回心を経験されました。翌年、12月23日のクリスマスの集会で、兵士入隊。やがて、小隊での青少年伝道に参加し、1969(昭和44)年に青少年部軍曹、1976(昭和51)年に青少年部曹長の任命を受けられました。1985(昭和60)年、曹長の任命を受け、信徒として、小隊の全活動面で献身的な奉仕をしてこられました。

前夜式及び告別式は、8月26日(水)、27日(木)に、みどり市の「メモリアル会館」で営まれ、前夜式は張田望中将の司式で進められ、追憶の言葉を吉田眞中将が述べました。告別式は、連隊長藤井健次大佐補が司式をし、桐生市長の荒木恵司氏が弔辞を述べられました。また、大里曹長の孫の大里仰さんが優しい祖父について追憶の言葉を述べました。

大里曹長は、キリスト教の信仰に堅く立ち、職場でも小隊でも、常に人々に真実に接し、励まし、いたわる救世軍人でした。御遺族の上に神様のお慰めが豊かでありますように祈ります。(桐生小隊報)

救世軍公報
転任
分ソコ内は継続任命
補(兼)児童家庭支援センター明日葉センター長
(具小隊長、(兼)具地区社会福祉施設チャブレン、(兼)愛光園施設長補佐、(兼)災害対策室長(臨時))
吉田 有大尉
二〇二〇年八月一日付
新施設長
ブリス記念老人保健施設グレイス
施設長 麦島秀雄
二〇二〇年十月一日付
司令官 ケネス・メイナード



青年たちによる
支援活動の様子



この支援の様子が動画で配信されています。(左記QRコードから御覧いただけます)

韓国の救世軍では、オンラインのみの礼拝集会を実施、本営も在宅勤務の方針を実施しており、本営内で勤務する人員の数は最小限に抑えています。また、このような中にあっても、経済的困難にある人々や洪水の影響を受けた人々に救援物資を提供しています。この夏には、四十六日間の大雨による地滑りにより、数千人が避難を余儀なくされました。韓国西部の救世軍の青年たちは、街頭生活者や脆弱な状況の人々を助けるために彼らの信仰を行動に移しています。支援参加者は、一緒に祈り、感染予防に努めながら市内の貧困地域を訪問しています。参加者はこう語っています。「イエス様が私に『助けなければならぬ人がたくさんいる』と言っているような気がします。そして、ここに来るといつも奉仕の喜びを感じ、去るときは幸せに満ちています。」



韓国の救世軍では、オンラインのみの礼拝集会を実施、本営も在宅勤務の方針を実施しており、本営内で勤務する人員の数は最小限に抑えています。また、このような中にあっても、経済的困難にある人々や洪水の影響を受けた人々に救援物資を提供しています。この夏には、四十六日間の大雨による地滑りにより、数千人が避難を余儀なくされました。韓国西部の救世軍の青年たちは、街頭生活者や脆弱な状況の人々を助けるために彼らの信仰を行動に移しています。支援参加者は、一緒に祈り、感染予防に努めながら市内の貧困地域を訪問しています。参加者はこう語っています。「イエス様が私に『助けなければならぬ人がたくさんいる』と言っているような気がします。そして、ここに来るといつも奉仕の喜びを感じ、去るときは幸せに満ちています。」

● 行事の変更
・軍国音楽祭(十一月二十一日、二十三日)は、十一月二十一日(土)、二十二日(日)にオンラインで開催。
・クリスマスコンサート及び社会鍋キックオフの集会(十二月六日(日))は、オンラインで開催。
● 韓国での支援活動
韓国の救世軍では、オンラインのみの礼拝集会を実施、本営も在宅勤務の方針を実施しており、本営内で勤務する人員の数は最小限に抑えています。また、このような中にあっても、経済的困難にある人々や洪水の影響を受けた人々に救援物資を提供しています。この夏には、四十六日間の大雨による地滑りにより、数千人が避難を余儀なくされました。韓国西部の救世軍の青年たちは、街頭生活者や脆弱な状況の人々を助けるために彼らの信仰を行動に移しています。支援参加者は、一緒に祈り、感染予防に努めながら市内の貧困地域を訪問しています。参加者はこう語っています。「イエス様が私に『助けなければならぬ人がたくさんいる』と言っているような気がします。そして、ここに来るといつも奉仕の喜びを感じ、去るときは幸せに満ちています。」

救世軍見解表明

社会道德に対する救世軍の立場

第3回「性差別」(2)

見解表明の背景と状況

(承前) 性差別は、賃金格差やセクハラにつながる可能性があります。時給の中

央値(データを小さい順に並べたとき中央に位置する値)を比較すると、世界的に同様の仕事において、女性の時給は男性に比べて低いことを示しています。女性の貧困は、女性が教育及び経済的な機会を受けることにおける不平等の直接的な結果です。

国連は、女性が世界の労働の66%を担い、食料の50%を生産しているにもかかわらず、全収入の10%しか得ておらず、全財産の1%しか所有していない、と推定しています。

性差別の行動には、男性が、話題にしていることについて、女性より自分の方がよくわかっているという勝手な思い込みによって見下した態度で話したり、あるいは、女性が彼女自身の理解が間違っているように思わせたり、健全でないかのように疑わせたりするような意識操作をすることも含みます。このような態度は、しばしば、男性による女性への感情的虐待として現れます。

性差別は、若年層から始まることもあります。幼稚園から大学院まで、教室における学びにおいて、教師は、女性が手を挙げていても男性を当てる傾向があることが明らかになっています。また、質問への回答においても、女性よりも男性に対してより長く待っている、また男性と、よりアイコンタクトを取っているということが起こっています。

女性が自分自身を成長させ、その賜物を用いたいと願うことは、人間として根源的なものです。教育や就職の機会を否定する、もしくはやめさせることは、抑圧的行動です。

(注9: Hendra, J. <2014>, Feminization of Poverty in Rural Areas. <http://www.unwomen.org/en/news/stories/2014/3/john-hendra-speech-on-feminization-of-poverty>, 10: UNICEF ユニセフ <2011>, https://issuu.com/unpublications/docs/un_at_a_glance_teaser_issuu 参考 <https://www.unicef.or.jp/sdgs/target.html> 持続可能な開発目標 <SDGs> とターゲット No.5, 11: Referred to as 'mansplaining' and 'gaslighting', 12: Baker, D. <2018>, 'Teaching for Gender Difference.' National Association for Research in Science Teaching (NARST). <https://narst.org/research-matters/teaching-for-gender-difference>)

救世軍の立場の土台となるもの

聖書の最初の1章は、男性と女性が、共に暮らすことを楽しむために創造されたことを教えています。男女の基本的な平等性がそこに見られます。神は、男性と女性を尊厳と立場において同等に造り、男性と女性の両方に等しく、被造物に対する権威と支配権をお与えになりました。

女性を造られるとき、神は女性を、男性の「ふさしい助け手」(聖書協会共同訳)としました。旧約聖書全体を通じて、「助け手」とは、必要な状況で他者を「救い出す」人のことを指しています。「助け手」は、しばしば神について用いられています。有能で強い存在であって、従属的な下位の存在ではありません。

男性が女性を支配することは、人間が罪を犯してしまった一墮落—によって生じました。それは罪に対する罰であり、神が創造の初めに求めておられた相互に調和する関係ではありません。

父なる神という引用も誤解される可能性があります。聖書は、神が男性であると言及しているわけではなく、父が子を愛するように神が私たちを愛しておられることを表しているのです。同様に、聖書は、神が母のように私たちを守っておられることを記しています。

旧約聖書の家父長制度の中でも、ミリアムや、フルダ、デボラなどは男性と同じ権威をもって行動しています。

新約聖書において、墮落前にエバが経験した女性本来の尊厳を、イエスが認めておられた例をいくつも見ることができます。

- ・イエスが、ベタニアのマリアに対し弟子のような姿勢でいることを認めておられました。—ルカによる福音書10章38～42節
- ・イエスは、井戸端で出会ったサマリアの女性に、礼儀をもって話しかけられました。—ヨハネによる福音書4章1～26節
- ・イエスは、香油を足に塗った女性をお誉めになりました。—ルカによる福音書7章36～50節
- ・イエスは、マグダラのマリアを、御自身の復活の最初の証人とされました。—マタイによる福音書28章1～10節

ペンテコステにおいて、聖霊は、ヨエルの預言のように、男性にも女性にも等しく注がれました。クリスチャンの共同体は、本来一致の共同体として存在するものです。男性であっても女性であってもキリストにあって一つなのです。

神は、教会という信仰の共同体の初めから、男性と女性を等しく回復させるために贖おうとされています。

(続く)

(注13: 創世1章26、28節、14: 創世2章18節、15: Christians For Biblical Equality. <1989>, Men, Women and Biblical Equality. https://www.cbeinternational.org/sites/default/files/english_0.pdf, 16: 創世3章16節、17: 『救世軍教理ハンドブック』<2010・日本語未訳>, pp 52-53, 18: 参照 イザヤ42章14節、46章3節、49章15節、66章13節、マタイ23章37節、ホセア13章8節、19: ミカ6章4節、列王下22章14節、士師4章4節以降、20: 使徒2章17、18節、ヨエル3章1、2節、21: ガラテヤ3章28節、22: Bilezikian, G. <2006>, Beyond Sex Roles: What the Bible Says about a Woman's Place in Church and Family. <3rd ed.>, Baker Academic. pp 92)





10月4日(日)～11月28日(土)までおこなわれています。士官志願者祈祷週間を充実させた、祈りのプランです。ガイドブックが手元にない方は、最寄りの小隊におたずねください。

祈りのプランでは、「祈りの折り紙」に取り組みます。「祈りの折り紙」は、士官志願者のための祈りとして、神様の御前に挙げた方の名前を書き、折り紙の中に折り込むものです。8週間の祈りのプランが終わりましたら、ぜひ「祈りの折り紙」を士官志願者部へお送りください。共に祈りの実を豊かに実らせることを期待しています。

111年目の社会鍋
いよいよ開始！
(詳細は社会福祉部より)

第5回
救世軍社会鍋
俳句コンテスト
開催します！

応募方法等詳細は
『ときのこえ』
クリスマス特集号に
掲載いたします



(取扱支部)

発行日及び定価

▼発行日

福音版・毎月一日発行

広報版・奇数月十五日発行(除く七月)

▼定価

福音版・一部 四〇円

広報版・一部 一〇〇円

クリスマス特集号(十二月一日号)

一部 一〇〇円

振替・〇〇二八〇五四四〇〇

発行兼 救世軍

印刷人 代表者ケネス・メイナ

編集人 寺澤 真由子

〒101-0051 東京都千代田区

電話 東京(03)三三七〇八八一

発行所 救世軍本営

印刷所 株式会社ビーアンドエス